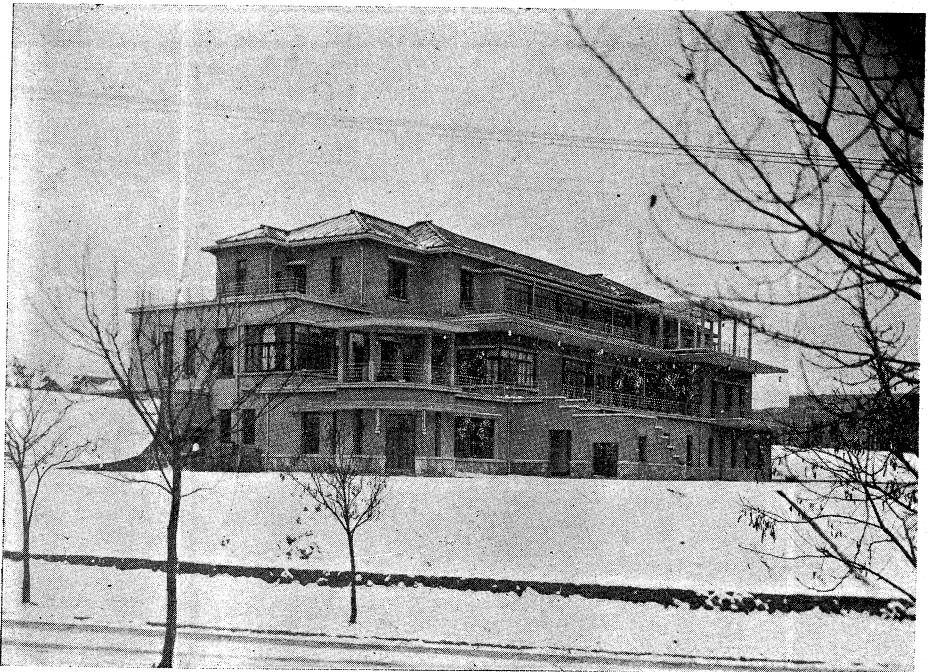


撫順炭礦俱樂部

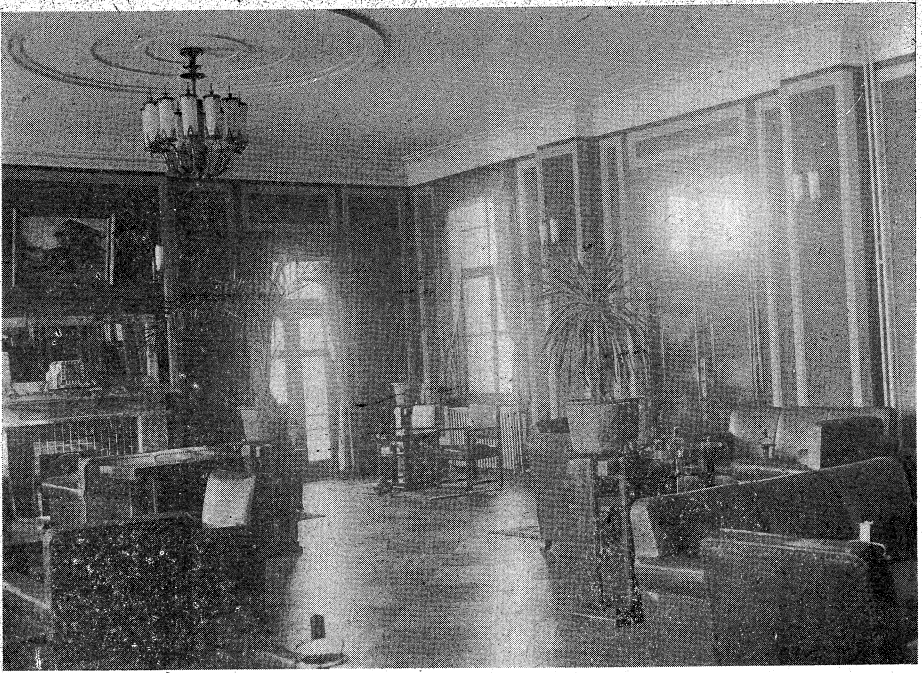
正面外觀



同

上

背面外觀



撫順炭礦俱樂部

廣間正面

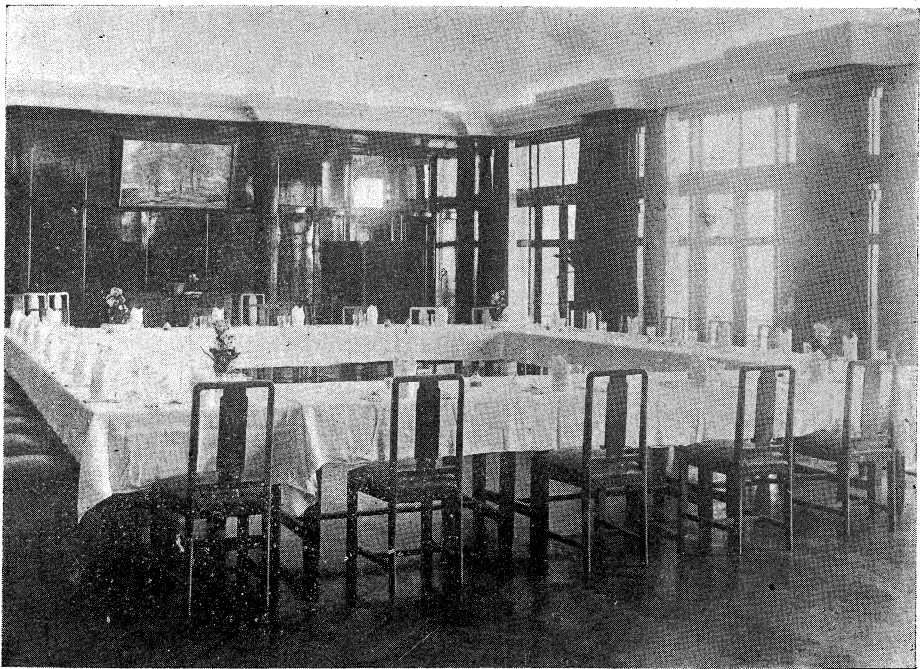


同上

階段附近



撫順炭礦俱樂部 階上談話室



同 上 大 食 堂



# 構造物の設計上基準となる べき諸条件の査定に就て (2)

満鐵計畫部 中 澤 潔

## 試案 § 5000 鐵骨構造

### 5100 小屋組

#### 5110 構造

#### 5111 小屋組の高

小屋組の高は支間の $\frac{1}{10}$ 以上たるを可とす。

#### 5112 小屋組の間隔

小屋組の間隔は支間の $\frac{1}{5}$ 乃至 $\frac{1}{4}$ たるを可とす。

#### 5120 外力

#### 5121 小屋組の荷重

部材の軸力を求むるに當り荷重を格點に分割する場合該部材の中間に加はる荷重は格點よりの距離の逆比に分割するものとし此の場合部材に生ずべき彎曲率は單桁として算出したるものゝ80%を採るものとす。

#### 5122 軸力

小屋組は靜定構造として各部材の軸力を求むるものとし構造が架構を爲すときは假想材の挿入により軸力を求むることを得。

#### 5130 内力

#### 5131 母屋材の應力

外力の方向が母屋材の面に直角ならざる場合は次式により其の彎曲應力を求むるもの

とす但し充分なる剛性を有する屋根版を使用する場合斜面に平行の分力は消略することを得。

$$\sigma = M_x \cdot \frac{x}{I_x} + M_y \cdot \frac{y}{I_y}$$

茲に

$\sigma$  = 彎曲應力 (kg/cm<sup>2</sup>)

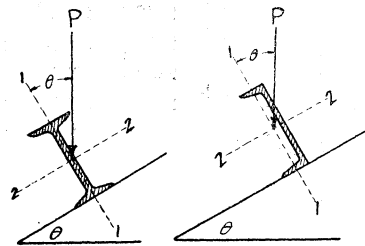
$x, y$  = 中軸線 1-1、2-2 より各縁維に至る距離 (cm)

$I_x, I_y$  = 各軸に關する斷面の2次率

(cm<sup>4</sup>)

$M_x, M_y$  = 各軸の方向の分力に依る彎曲率

(kg.cm)



鐵骨—第1圖

#### 5132 部材の應力及斷面

小屋組各部材の應力及斷面の決定は總て5300項の抗壓材及5400項の抗張材に準ずるものとす。

#### 5133 鋸の許容力

鋸の許容力は次式に依り算定するものとす

A 單剪の場合

$$R = \tau_a \frac{\pi d^2}{4} \quad \text{但し } d < 2.55 \text{ t なるとき}$$